

接続形式としての“着”

下地 早智子

(神戸市外国語大学中国学科)

要旨

現代標準中国語において、“着-zhe”は一般に継続相に相当するアスペクト形式として捉えられる。しかしながら、用例の中には、アスペクト的な意味合いに乏しく、単に動詞句を別の動詞句に依存させる働きのみを有するような“着”が存在する。(走着去(歩いて行く。)/说着,他转身走了((そう)言うと、彼は踵を返して去って行った。))本発表では、このような“着”を仮に接続形式と捉え、いわゆる文終止問題をはらむ“了”との対立関係、及び“着”のその他様々な用法における位置づけについて考察する。

1. 日中のアスペクト形式とタクシス

- (1) 「話し手が、複数の出来事を1つの事件としてまとめあげながら伝達するとすれば、その複数の出来事成立の時間的順序性を表し分けなければならない。スル(完成相)は、時間的に限界づけて把握するがゆえに<継起性>を表し、シテイル(継続相)は、時間的に限界づけずに把握するがゆえに<同時性>を表す。だとすれば、スルーシテイルのアスペクト対立の本質は、時間的限界性(limitedness)に関わる点にある。」
(工藤 1995:35)

- (2) 航空機が墜落した。消防隊が現場にかけつけた。負傷者が助けだされた。
(3) 航空機が墜落していた。消防隊が現場にかけつけていた。負傷者が助けだされていた。¹

(工藤 1995:35)

- (4) a. 他看窗外唱情歌。/ 琳娜拿皮包上班。
彼は窓の外を見て、恋の歌を唄った。/ リンナはバッグを取って出勤した。
b. 他看着窗外唱情歌。/ 琳娜拿着皮包上班。
彼は窓の外を見ながら恋の歌を唄った。/ リンナはバッグを持って出勤した。

aは“看窗外”と“唱情歌”が二つの別々の出来事が連続して起こったことを表し、bは二つの動作が同時に起こったものであり、それをひとまとまりの出来事として表すものである。
(戴耀晶 2001:77)

¹ (2)(3)の中国語訳は以下のようになり、“着”を用いることはできない。

(2C) 飞机坠落了。消防队急忙赶到(了)现场,抢救(*了)伤员。

(3C) ??飞机坠落成。消防队急忙赶到着现场,抢救着伤员。

ただし、この例で用いられている“墜落”“赶到”“抢救”のうち、“赶到”は動詞そのものが“着”を下接しない。“墜落”は“正在墜落成”とし、「今まさに墜落しているところだ」という解釈であれば成立する。

㊦ “着”は複数の動作の<同時性>を積極的には表さないのでは？

- (5) 次のような日本人学生の日記に対し、中国人留学生から疑問が提出され、結局、傍線部分の訳に訂正をみた。

田政委含笑说：“……，”他扬手招呼刚接完电话的梅英姿，“……。”说着，他挥动了一下粗壮有力的手臂，……

[日本人学生訳例]

田政治委員はほほえんで言った。「～」彼は電話を受け終えたばかりの梅英姿を手を挙げて呼んだ。「～。」

と言いながら，彼はごつい力のありそうな腕をさっと振り，～

[中国人留学生添削例]

といいながら→そう言う

(武信 1978:48)

- (6) 这猴王一听，老猴儿也说吃皮儿！嗯，他以为呀，真正的答案已经找到了，于是它向前走了一步，说道：“对！你们大家说得都对！就是小马猴儿说错了。她没吃过西瓜，硬说吃西瓜时吃瓢儿！好，今天叫他一个人吃瓢儿，咱们大家吃皮儿！”

说着呢，把西瓜打开了。瓢儿都给小麻猴儿吃了，大家呢，是共分西瓜皮子。

猿の王様，年寄り猿まで皮を食べると言ったのを聞くと，よし，本当の答えはもう分かったと思ひ込み，そこで一步前に出ると，「そうだ，みんなの言うのが正しくて，アバタの子猿だけが間違つとる！やつは西瓜を食べたこともなくせに，あくまで西瓜は中身を食べるのだと言ひ張った。よし，今日はやつに中身を全部くれてやる，われらは皮を食べよう！」と言いながら西瓜を切りました。中身は全部アバタの子猿に食べさせ，みんなは，西瓜の皮を等分しました。

(「中国語ジャーナル」2011年4月号:21)

- (7) 我一直都陪伴他的身边，一会儿递这，一会儿递那，这时听着吓了一跳，提心吊胆的问，修不好了？

(小说选刊: 引自李向农・张军 2001)

(私はずっと彼の傍にいた。あれを渡したり、これを渡したり、そのときは聞いて驚いたね。びくびく尋ねたよ。「直せないのか？」って。)

- (8) J. 子供が泣いている。見てきなさい。

C. 小孩儿哭了。你去看看。

(荒川 1991:20)

- (9) J. トットちゃんは，先生と，指きりゲンマン！をした。先生は笑っていた。トットちゃんも，先生がうれしそうなのを見て，安心して，笑った。

C. 校长先生和阿彻钩了钩小指头，校长先生笑了。阿彻看校长先生很高兴，也放心地笑了。

(菅谷 1996:177)

- (10) a. 小孩儿哭了。你去看看。(=(5J))

b. *小孩子哇哇地哭了。你去看看。(？子供がワーワー泣いた。見てきなさい。)

c. 小孩子哇哇地哭着。你去看看。(子供がワーワー泣いている。見てきなさい。)

㊦(10b)日本語の「子供がワーワー泣いた」が不自然なのは別の事情による。

(11) J. 夫婦は大声で怒鳴りあった。子供がワーワー泣いた。情けない夜だった。

C. 夫妻俩大声叫喊着。小孩儿哇哇地哭 *了/着。那是一个让人心碎的凄惨的夜晚。

㊦「“了”的」であるとされる“说着”

(12) “…略…”二民冷冷地说着，顿了顿，站起来出去了。

(贫嘴张大民的幸福生活，引自三宅 2006:22)

(「…」二民は冷たく言うと、言葉を切って、立ち上がって出て行った。)

(13) 刚一落座，就有人说了：“哎，您是贵客呀，怎和我们坐在一处？”

(骆驼祥子：新语丝)

(座ったところで、誰かが言った。「あなたは賓客なのにどうして私たちと一緒に座るのか?」)

⇒ “说了”は多くが台詞の前、“说着”は全ての例が台詞の後。

2. 従属節をつくる“了”“着”

2.1 “了”

⇒ “了”は、開始もしくは終了といった動作の限界の局面を注視するアスペクト・マーカ―であると考えて良い。非限界動作動詞に付く場合、結果補語や数量表現によって、時間的・量的限界点を明示しなければ独立文として成立せず²、後に主文となる別の動詞句を要求する。意味的には、主動詞句に先行する動作や条件の提示などを担う。

(14) ?我吃了饭。/ ?他看了书。

私にご飯を食べた。/ 彼は本を読んだ。

(15) 我吃了两碗饭。/ 我吃完了饭。/ 他到了北京。

私にご飯を二杯食べた。/ 私はご飯を食べ終わった。/ 彼は北京に着いた。

(16) 哎，吃了再走吧？

(编辑部 4 10)

(食べてから行きなさいよ。)

(17) 你做了什么，我也不怨你的。

(原野:83)

(あなたが何をしても私はあなたを恨まない)

(18) 你说呀，你说了我才疼你，爱你。你说了，你要干什么，我就干什么。

(原野:496)

(言いなさいよ。あなたが言ったら、私はあなたを愛する。あなたが言ったら、あなたが私にして欲しいことを何でもしてあげる。)

² 例には挙げていないが、独立文にするには、文末助詞を用いる方法もある。

- (19) 祥子の脸红起来，低声说了句：“我怎能当厂主？！” (骆驼祥子：新语丝)
(シャツは顔を赤らめて、低い声で言った。「…」)

⇒ “一句”などの数量成分や具体的な台詞が、“说了”の不安定さを補完している。

2.2 “着”

⇒ “着”は、典型的には動作の結果持続の局面を取り出すアスペクト・マーカーであると考えてよい。非限界動作動詞に付いて進行を表す“着”は独立文として安定せず、後に主文となる別の動詞句を要求する。意味的には、主動詞句の背景状況の描写を担う。(二側面動詞の場合、目的語に数量表現が付けば結果持続で文終止し、付かなければ動作進行で文終止しない)

- (20) a.?我们说着话。 b.?下着雨。 (刘一之 1999: 164)

私たちは話している。 雨が降っている。

- (21) a. 门开着呢。 b. 墙上挂着一幅画。

ドアが開いている。 壁には絵が掛かっている。

- (22) a. 我们说着话，天就黑下来了。

私たちが話しているうちに、空が暗くなってきた。

- b. 天这么黑，又下着雨，我看就别去了。

空がこんなに暗いし、雨も降っているから、もう行くのはやめにしよう

(刘一之 1999: 164)

- (23) a. 山上架着炮[進行/結果] b. 山上架着两门炮。[結果] (陆俭明 1988:128)

a. 山上に大砲を設置しているところだ b. 山上に二門の大砲が設置されている。

- (24) a. 他正写着字。 b. *他正写着五行字。 (沈家暄 1995)

彼はちょうど字を書いているところだ 彼はちょうど字を五行書いているところだ

⇒ “着”は基本的に動詞の結果持続の側面を注視するもの。独立文としては安定しない³。

3. 接続形式としての“着”とその位置づけ

3.1 接続形式としての“着”

☞ 刘一之(2001)の挙げる次のような“着”の例は、積極的に結果持続のアスペクトを表すものとは思われない。

- (25) 前件はある人の何らかの行為を指し、後件はその行為の影響のもとで、他の人に何らかの変化が生じたり、受益が生じたことを指す。⁴

³ ただし、“了”にしろ“着”にしろ、動詞句が詳しく連用修飾されていれば独立文となることも指摘されている。その理由は詳らかではない。

⁴ “前一分句指某人的一种行为，后一分句指在某人的这种行为的影响下，另一个人发生了什么变化或得

大伙儿帮着，我才把这小厨房盖起来。

(皆の援助で(?皆が助けていて)，ようやくこの小さな台所を造ることができた)

大伙儿帮着，他的气才慢慢消了。

(皆の援助で(?皆が助けていて)，彼の怒りはようやくゆっくりと収まった)

- (26) “这么……，都不/还……”の形式を用いると，ある種の変化が生じるはずだったが生じなかった，という意味になる。⁵

这么说着，他都不改。

(これほど言って(?いて)も，彼は全く改めなかった)

这么哄着，她还哭。

(これほどなだめて(?いて)も，彼女はまだ泣き続けた)

- (27) 说着，他转身走了。

(言うとき(?言いながら)，彼は踵を返して去って行った。)

この例が，彼が話している最中に踵を返して去ったことを意味するのか，話し終わってから立ち去ったことを意味するのかは分からない。⁶

- (28) 要太多的预备，多派人手，赶着办！ (鹿鼎记：引自李向农・张军 2001：111)

(たくさん準備しなければならないし、人手もやらなければ。急いでやろう!)

⇒ これらの“着”はアスペクト・マーカというよりもむしろ日本語における動詞のテ形接続形式に近いのではないか⁷。テ形とは，寺村(1984:61)によれば，活用形の一つで，連用形などと共に，「ムードを保留し，後の文のムードにゆだねる」「あとの文(主節)がムードを表すまで態度を保留するムード」(p.58)を表す形とされる。また，益岡(2011:2)によれば，動詞連用形が構成要素を列挙するにすぎないものであるのに対し，テ形接続は連用関係を明示するものであり，連用関係の主要な意味領域を包含するという。その一つとして，(23)のように同時的に共存する事態も排除されない。

- (29) 悲しい話を聞いて、涙がこぼれ落ちた。 [継起的] (益岡 2011:3)

- (30) 立っておしゃべりをした。 [同時的] (益岡 2011:3)

3.2 位置づけ

㊦ “着”が当該の動作を背景化し、別の動詞句への依存形式とする用法は、アスペクト用法と連続するものである。認知科学では、前景化と背景化について、以下のように説明する。

到了什么好处，……” (刘一之 2001:151)

⁵ “这么……，都不/还……”句式，意思就是说：应该发生某种变化，但实际上没发生，……

(刘一之 2001:152)

⁶ 到底是在他说话当中他转身走了，还是他说完话才转身走了，不得而知。

(刘一之 2001:153)

⁷ “着”に相当する日本語の形式に「～テ」が含まれることは，平岩(1939)につとに記述がある。

- (31) 「前景化とは、所与の対象・事態の一側面が注意・関心の焦点となって描かれることである。他方背景化とは注意・関心の焦点からはずれて背後に退く側面であり、認知的に前景化を補足する効果を持つ。

前景化された対象を図、背景化された部分を地と呼び、…(略)」

(辻編 2002:137)

「一般に、知覚レベルで、図を特徴づける要因として次のようなものが知られている。

- ① 2次元的に閉じている図形は図になりやすい。(完結性)

…(中略)…

- ⑦ 動くものは図になりやすい。(動静)」

(辻編 2002:130)

⇒上に述べたように、“着”は動作の結果持続の均質的な局面を取り出すアスペクト標識であり、時間的限界点は考慮されず、さらに動作の静的な局面を描く形式である。したがって、相対的に図よりも地を担う形式となりやすい側面が、アスペクト形式としての用法においても認められる⁸。

- (32) 便道上骆驼缓慢稳当的走着,街心中汽车电车疾驰,地上来往着人马,天上飞着白鸽,整个的老城处处动中有静,乱得痛快,静得痛快,一片声音,万种生活,都覆在晴爽的蓝天下面,到处静静的立着树木。(骆驼祥子:新语丝)

(道ではラクダがゆっくりと歩いており、街中では車や電車が疾走、地上では人馬が行き交い、空にはハトが飛んでいる。古城全体の至る所が動きの中に静かさを秘めており、雑多であり静かでもある。一面の雑音が一万の生活であり、すべてが澄み渡った青空に覆われていて、至る所に立木が静かに立っている)

- (33) 出了西直门,真是连一辆车也没遇上;祥子低下头去,不敢再看马路的左右。他的心好象直顶他的肋条。到了高亮桥,他向四围打了一眼,并没有一个兵,他又放了点心。(骆驼祥子:新语丝)

(西直門を出ると、本当に一台の車にも出会わなかった。シャンツは頭を低く下げて、道路の左右を見ようとはしなかった。心臓がろっ骨をつつき続けているようだった。高亮橋に着くと、彼はあたりを見回した。兵隊など一人もない。彼は少しほっとした。)

㊦ 完成相が図、継続相が地を担うのは日本語も同じ。

⁸ ただし、かなり古くから見られる用法であるため、アスペクト用法から発展したのではなく、その前段階の結果補語用法から直接枝分かれしたと考えるのが妥当であるように思われる。

夏布汗褸儿穿着最舒服。

(『急就篇』125)

(着てみて一番気持ちがいい)

結果補語 > 結果持続を表すアスペクト・マーカ
> 別の動作の背景状況

表 1. 日中アスペクト形式の役割

	アスペクト	認知	物語内の役割	タクシス
日本語	完成相	図	時間を進める	継起性
	継続相	地	時間を止める	同時性
中国語	了	図	場面を変える	不問
	着	地	場面を描写する	

⇒ 「時間」(日本語)は出来事の認識者に関するもの。
 「場面」(中国語)は出来事の当事者に関するもの。

日本語の完成相は物語内の時間を進めるが、中国語の“了”は時間を進めるというよりも場面を変える(映画でいうとカットを変える)。複数の出来事を語る場合、日本語では何らかの基準時が機能。それは、主節の時間であったり発話時であったりするが、日本語では出来事の時間と、出来事の認識者(発話者)に属する時間との相対的關係が常に計られている。中国語の「場面」はそうではなく、出来事の認識者は自分の時間と出来事の時間の関係に頓着することなく、カットが変わる場合には“了”、同じシーンの様子を描写する場合には“着”を用いるのみ。したがって、日本語で「た」が用いられるところに必ずしも“了”は用いられない。

4. まとめ

日本語のアスペクト形式は、複数の動作の<継起性>と<同時性>を表す用法を持つが、“了”“着”は、表現者が動詞の表す個々の動作のどの時間的局面に注視しているかを表すだけで、複数の動作の時間的前後関係を積極的には表していない。

“了”は、開始もしくは終了といった動作の限界の局面を注視するアスペクト・マーカであると考えて良い。非限界動作動詞に付く場合、結果補語や数量表現によって、時間的・量的限界点を明示しなければ独立文として成立せず、後に主文となる別の動詞句を要求する。意味的には、主動詞句に先行する動作や条件の提示などを担う。

“着”は、典型的には動作の結果持続の均質的で静的な局面を取り出すアスペクト・マーカであると考えてよい。“着”はどのような動詞に下接してもそれだけでは独立文として安定せず、文末助詞や後に主文となる別の動詞句を要求する。従属節となる場合、意味的には、主動詞句の背景状況の描写を担う。

主文動詞句の動作の背景状況を担う“着”の用例の中には、動作の結果持続の局面を取り出すアスペクト・マーカというよりも、むしろ日本語における動詞のテ形接続形式に近い用法が見られる。アスペクト・マーカとしての用法とは、「完結性」を持たず「静的」な事象が「背景化」されやすいという点で連続的にとらえることができる。

<引用文献>

- 平岩房次郎 (1939) 「助動詞の研究一時について」『支那語研究』第 2 号。
- 工藤真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現—』ひつじ書房。
- 益岡隆志 (2011) 「中立形接続構文とテ形接続構文」国立国語研究所共同研究プロジェクト研究発表会，
2011 年 2 月 19 日，口頭発表資料。
- 三宅登之 (2005) 「表示動態的“V 着”の実際使用情況」『言語情報学研究報告』No.7, pp.127-145.
_____ (2006) 「关于“说着+V2”结构的时体性特征」『言語情報学研究報告』No.11, pp.15-30.
- 中川正之 (1979) 「「着・le」と「了・le」」『アジア研究』創刊号，広島大学総合科学部アジア研究講座，
pp.59-67.
- 讀井唯允 (2000) 「“在等”“等着”“在等着”」『人文学報』No.311, pp.53-73.
- 下地早智子 (2010) 「現代中国語における「シテイル／シテイタ」相当表現—日中のアスペクト対立に見られる視点と主観性—」『神戸外大論叢』第 61 卷第 2 号，pp.87-108.
_____ (2011) 「「視点」の違いから見るアスペクト形式選択の日中差—非限界動作動詞の場合—」『日
中言語研究と日本語教育』Vol.4.
- 下地早智子・任鷹(印刷中) 「“V 着”と“V テイル”“V ナガラ”“V テ”—非限界動作動詞の場合—」，
CLAVEL Vol.2, 対照研究セミナー 編。
- 菅谷有子 (1996) 「V-テイルに対応する中国語アスペクト」『小出記念日本語教育研究会論文集』No.5,
pp.163-186.
- 杉村博文(2000) 「言うがはやいか」『中国語』No.488:32.
- 武信彰 (1978) 「現代文学作品中の「伝達動詞+着」—「着」の側面観」『中国語学』225 号，pp.48-53.
- 辻幸夫 編(2002) 『認知言語学キーワード事典』研究社。
- 寺村秀夫(1984) 『日本語のシンタクスと意味 II』くろしお出版。
- 戴耀晶(2001) 「“VP1+着+VP2” 结构的语义分析」《中国语言学报》第 10 期：pp.75-81.
- 方梅 (2000) 「从“V 着”看汉语不完全体的功能特征」《语法教学与研究》(九)，商务印书馆：pp. 38-55.
- 李向农，张军(2001) 「“V 着 V” 结构的意义关系及结构中“V” 的语义特征分析」《华中师范大学学报》(人
文社会科学版)第 40 卷第 3 期:pp.109-115.
- 刘一之(1999) 「北京口语中的“着”」《语言学论丛》第 22 辑：164-175。
_____ (2001) 《北京话中的“着(-zhe)”字新探》，北京大学出版社。
- 陆俭明(1988) 「现代汉语中数量词的作用」《语法研究和探索》4。
- 沈家煊 (1995) 「“有界”与“无界”」《中国语文》第 5 期：367-380.
- Smith, C. 1994. Aspectual viewpoint and situation type in Mandarin Chinese. *Journal of East Asian Linguistics* 3, 107-146.

<例文出典>

- 骆驼祥子：新语丝／<http://www.xys.org/>
《编辑部 1～10》：北京電視芸術中心制作，連続ドラマ《编辑部的故事》中国語情報サービス発行。
〈原野〉：曹禺〈原野〉1998《曹禺文集第一卷》中国戏剧出版社。
『急就篇』昭和 8 年(1933 年)，宮島大八編輯，善邻书院發行，所用的是六角恒広(編)1991『中国語教本
类集成』2 集 1 卷：177-217。